

慶雲寺報

NEWS

住職の交代がなされました

お檀家の皆様にご報告申し上げます。
この度、宗内の審査を経て、副住職の慶雲寺住職への就任が正式に認められました。
過日、住職辞令親授式出席のため宗務庁へ参じ、管長様より

【12/1付 慶雲寺住職を任す】の辞令を拝受して参りました。

昭和五十七年、師僧ニ準道大和尚就任より三十年余り。新任職も、師僧の就任時の年齢を迎えました。

これまで様々な場面で、寺院護持の在り方、檀信徒教化のあるべき様の後姿を見て参りました。教えを受け、学び取ったものを礎として、皆様の菩提寺である慶雲寺の護持運営に、力を尽くして参りたく存じます。

まだまだ至らぬ面もありますが、何卒ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

慶雲寺二十六世 大應伸道 和尚

氏名 細川伸道(ほそかわ しんどう)

昭和四十七年生まれ 四十一歳

ご報告よりしくお願いいたします 合掌

11/16 山門施食会

年間行事の一つである山門施食会が行われ、宇河地区曹洞宗寺院の、住職さま副住職さまの読経の中、お檀家の皆様の先祖供養が勤まりました。

まだお参りいただいでいないお宅のお塔婆が、堂内に残っております。正月準備までは保管いたしますので、お早めにお参り下さい。

不在の場合、

ご随意に本堂内へどうぞ



◎平成二十六年年度年回表

来年度年忌にあたるご先祖様は左表の通りです。

一周忌	平成二十五年没
三回忌	平成二十四年没
七回忌	平成二十年没
十三回忌	平成十四年没
十七回忌	平成十年没
二十三回忌	平成四年没
二十七回忌	昭和六十三年没
三十三回忌	昭和五十七年没

該当するお宅には、年明けに通知を差し上げます。ご先祖様に報恩の思いをお供えしましょう。

◎伝道揭示板から

【情けは人の為ならず】ということわざがあります。「情けをかけることは、結局はその人のためにならない(のですべきではない)」という誤解が、若者を中心に広がっているとの報道がありました。ご承知の如く、「情けは人のためではなく、いずれは巡って自分に返ってくるのであるから、誰にでも親切にしておいた方がよい」というのが正しい意味です。



陰徳という言葉が示すように、善根(徳)は、人が見ていようといなかろうと、評価があろうとなかろうと、自らの発心を元に、行いとして積み重ねていくべきものであります。

ああすればこうなるから...という損得勘定はまかりなりません。他を思いやった行いは、結局のところ自我への執着を離れることにつながっていると言ったこともできるでしょう。

見えない縁(結びつき)に支えられて生きていく私達であります。「功德は廻る」と心に秘め、この一年を納めましょう。

▼六地藏前掛け 願主募集▲

これまでの願主の方から、満願のお申出を受けました。お地藏様の帽子や前掛けは、寺で揃えるものではなく、願いを込めて功德主(願主)の方がお供えするのが通例です。

つきましては、新たな願主の方を募集します。お札納めの際など、ひと声お掛け下さい。